

宮城のAI オンデマ ンド交通が本格運行

オリコンサルが

実証実験を実施

オリエンタルコンサルタンツが宮城県利府町で実証実験を行ってきた乗合型AI（人工知能）オンデマンド交通システム「利府町版mobi」が1日から本格運行を始めた。アプリや電話で簡単に車両を呼ぶことができ、AI ルーティングで、最適なルートで相乗りしながら目的地まで効率よく移動できるサービスだ。

高齢者や子育て世代に寄り添う快適な生活環境の構築を目指し、地域の多様な関係者

が連携する国土交通省の「共創モデル実証プロジェクト」として2023年11月に始動した。

同社は、利用状況の分析や利用者、事業者からの意見収集を行い、実施効果や利用者満足度も評価し、実証運行の推進に向けた改善の検討、提案を担った。

実証期間中に、運行エリアの拡大や乗降場所の追加、事前予約システムの導入といった段階的なサービスの改善を実施。

その結果、3年間にわたり利用者満足度が目標値を上回り、「移動負担の軽減」や「移動範囲の拡大」など生活利便性の向上に一定の効果が確認されたため、本格運行へ移行した。